

夏季オリンピック 招致の是非

皆さんの声を 聞かせてください!



〈写真〉アテネオリンピックの開会式(提供:共同通信社)

札幌市長
うえだふみお
上田文雄



この特集に関するお問い合わせは スポーツ部企画事業課 ☎211-3044へ

今年3月、市議会において「2020年夏季オリンピックの札幌招致に関する決議」が可決されました。187万市民を代表する市議会の議決は、市長として重く受け止めなければなりません。一方で私は、市政の執行を任される立場として、招致について慎重に判断することが必要だと考えました。

なぜなら、開催に伴う市負担の大半は借金で賄わなければならない、それらを将来的に負担するのは、今の子どもたちなのです。少子高齢化の進展、人口の減少などを考えたとき、将来の市民に対して、今の大人である私たちには責任ある判断が求められています。夢のオリンピックを招致できたとしても、市民サービスが低下し、将来の市民生活に過重な負担を残すようなことがあってはならないというのが、これまでの私の考えです。

今回、現時点で予測できる限りの収支や効果などの試算も明らかにしました。これらの情報を基に十分にお考えいただき、皆さんの意見を聞かせてほしいのです。寄せられた声やアンケート結果などを踏まえ、来年2月までに、招致の是非について、市長として判断いたします。

これまでの動き

17年3月	札幌市議会において「2020年夏季オリンピックの札幌招致に関する決議」が可決。北海道議会でも同様の議決
↓ 8月	自民党・公明党所属の道選出国會議員、道議會議員、札幌市議會議員らによる「オリンピック夏季大会招致推進北海道議員連盟」設立
↓ 9月	上田市長が第3回定例会市議会において、「広報誌12月号で必要経費・経済効果などの調査結果を公表した上で、1万人アンケートを実施」と表明

決議の要旨

(中略)市民のスポーツ振興や国際交流の促進はもとより、青少年の育成、地域の経済発展など国際都市としてさらなる飛躍をする絶好の機会である。(中略)世界史上例を見ない夏冬開催地の栄誉となる2020年夏季オリンピック及びパラリンピック競技大会の札幌招致を目指す意思をここに表明する。

18年2月

アンケート結果などを踏まえ、上田市長が招致の是非を判断